

看護 かごしま

Nursing
Kagoshima



<http://k-kango.jp>

2015.Autumn Vol.161

特集

看護職のワークライフバランス(WLB) 推進ワークショップ開催



曾木の滝公園（伊佐市）

◆業務執行理事近況報告	2
◆ほっとニュース	3
◆WLB 推進ワークショップ開催	6
◆めざせ認定看護師	8
◆委員会報告	10
保健師職能委員会・社会経済福祉委員会 パワフル age 委員会・広報委員会	
◆ハーモニーランド会員特典	13
◆地区だより	14
◆ナースセンターだより	17
◆理事会報告	20

平成 27 年度鹿児島県看護協会会員数

保健師	420 人
助産師	356 人
看護師	9,995 人
准看護師	915 人
合計	11,686 人

平成 27 年 10 月 1 日現在
※前年同月より 158 人増



 公益社団法人鹿児島県看護協会 業務執行理事近況報告公益社団法人
鹿児島県看護協会会長

平川涼子

会長となり、4年目の秋を迎えました。元気高齢者を目指し、この夏から筋トレを頑張っています。運動しない歴35年でしたが、筋肉量が増加しびっくりです！！

先月の鹿児島地区「まちの保健室」では、鹿児島県薬剤師会にご協力いただき、「お薬相談コーナー」を新設いたしました。これまでに栄養士・歯科衛生士の方にはご協力いただいたのですが、薬剤師は初めてでした。大変好評で長い時間相談される方もあり、県民の皆様の多様なご要望にお応えするには多職種との連携をさらに強化する必要性を感じました。急速に進む少子超高齢社会でどんな看護サービスを提供できるかが、本会の課題です。そして、若年者の人口減少を考えますと、看護職を魅力的な職業としてアピールすることが重要です。現在働いていらっしゃる方が、やりがいをもって元気に働き続けられる職場環境づくりも大事です。必要な事業は増えていきますが、来年に向けそろそろ事業のスクラップ&ビルトの時期でもあります。私の体同様、体脂肪を捨て、筋肉量が増えるよう頑張っています。これからもどうぞよろしくお願いたします。

公益社団法人
鹿児島県看護協会専務理事

原田ケイ子

口永良部島、桜島の火山爆発等による避難をはじめ台風や水害などの被害にあわれた会員・御親族・友人の方々に見舞い申し上げます。災害は忘れたころにやってくると言われていましたが、今や災害は忘れないうちにやっています。それだけに日頃の対策・準備が必要かと思えます。皆様の職場や家族の対応はいかがでしょうか。

この11月10日から12日の3日間に日本看護協会と県看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練を行う予定です。災害支援ナースの所属されている医療機関の御協力をよろしくお願いたします。

さて、平成27年度上半期の主な取組を紹介いたします。理事会・運営委員会・常任委員会・特別委員会等も各設置目的に則り、計画どおり運営されております。特に理事会では本年の通常総会でも出された意見をもとに、本年度中に出来ること、次年度事業で工夫すること等、様々な議題（詳細は本紙末頁）に対応していただいております。

また、本年6月から経験豊かな看護師の方々が共通の認識を持ってハローワークで就労・進学等の相談対応をしていただくための研修や関係者との打合せを行ってきました。おかげさまで相談対応と医療機関等訪問していただき地域の看護職の方へ、きめ細かな支援を行っていただいております。

下半期は日本看護協会からの委託事業として九州地区高齢者ケア施設管理者研修や地区支部等における看護職連携構築モデル事業等もあります。さらに来年度の事業計画案策定等も行っていくこととしておりますので皆様方の御意見・御協力をどうぞよろしくお願いたします。

公益社団法人
鹿児島県看護協会常任理事

原田ゆう子

看護協会の玄関に飾られた彼岸花にほっと気持ちが和み、秋を感じています。

27年度も上半期が過ぎ、私が担当する教育活動とナースセンター事業活動も、担当部署の職員、関連する委員会、協会加入施設や会員の皆様のお蔭様で、年間計画スケジュールが順調に進んでいることをご報告いたします。

26年度から取り入れた「e-ラーニング 医療安全管理者養成研修会」は、27年度は7月～11月に配信される31講座を120名が受講しています。S-QUE研究会主催の衛星配信「看護必要度研修会」も沢山の人が受講する等、IT化へ対応できるようになりました。

27年度中にスタートする新たな取り組みとして特記できる事として、会員特典として研修ポイント制があります。看護協会が主催する研修に、規定に応じたポイントをつけて、7ポイントがたまったら1回の研修を無料で受けられるという仕組みです。

ナースセンター事業では、看護師の就業支援事業、WLB推進事業、その他看護職の離職時届出制度に係る事業など、県内の看護職の皆様が生き生きと働き続けられるように支援する努力を続けて参ります。

ほっとニュース

1

平成 28 年度鹿児島県予算等に関する要望

鹿児島県看護協会は、平成 27 年 8 月 10 日、平成 28 年度鹿児島県予算等に関し以下の看護職員確保対策等に対する要望を行いました。

- 1 要望先：鹿児島県知事（保健福祉部長）
- 2 要望事項
 - (1) 看護職員の確保・定着の支援策について
 - 医療勤務環境改善支援センターの設置について
 - 訪問看護師の確保・定着促進について
 - 看護師長のマネジメント能力向上研修について
 - (2) 看護の質向上について
 - 専任教員養成講習会の実施（看護基礎教育の充実）について
 - 准看護師の研修支援について
 - 保健師の人材育成の強化について
 - (3) 医療と介護との連携強化について
 - 地域での多職種連携事業の推進
 - 在宅における終末期ケアの推進
 - 訪問看護師の活動広報について
 - (4) 特定行為に係る看護師の研修制度の推進について
 - 研修制度について、医療関係者及び県民への周知
 - 特定行為研修機関及び実習施設への財政支援等について
 - 研修へ看護師を派遣する施設に対する財政支援等について



2

特定行為に関する研修制度が開始されました！：平成 27 年 10 月 1 日から

・研修制度について

この制度は、医師の包括的指示（手順書）の中で看護師が自律して看護実践（診療の補助行為）ができる制度であり、施設や在宅等で医師不在であっても、患者の病状が予め定められた範囲にあるかを確認し、医師の判断を待たずに特定行為を実施することができる仕組みです。手順書により看護師が行う場合は、指定研修機関において特定行為区分に係る特定行為研修を受けなければなりません。

・手順書とは？

医師または歯科医師の作成する指示文書であり、内容は、「看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲」「診療の補助の内容」等が定められています。

・特定行為の区分とは？

呼吸器関連、動脈血液ガス分析関連、循環器関連、ドレーン管理関連、創傷管理関連、血糖コントロールに係る薬剤投与関連など 14 区分 38 行為があります。

・例えば、特定行為として、

脱水の程度の判断と輸液による補正、病態に応じたインスリン投与量の調整等の行為があります。実施するには思考及び判断力、並びに高度かつ専門的な知識・技能等が必要です。

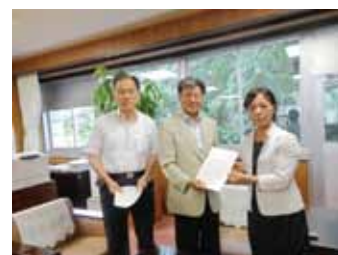
※九州では大分県立看護大学をはじめ、全国で 14 の研修機関が指定を受けています。

3

特定行為指定研修機関設置に係る要望

鹿児島県看護協会は、平成 27 年 8 月 17 日、鹿児島大学学長に特定行為指定研修機関の設置を求める要望書を提出しました。

- 1 要望先：鹿児島大学 前田芳實学長
- 2 要望事項
 - (1) 鹿児島大学医学部保健学科に特定行為指定研修機関の設置をお願いしたい。
 - (2) 特定行為研修の領域として、鹿児島県内の認定看護師を活用できる領域の研修カリキュラムの構築をお願いしたい。



4

研修会ポイント制について

平成 27 年 11 月 1 日から、会員一人ひとりの自己研鑽やキャリア開発及び継続教育を支援することを目的として「鹿児島県看護協会会員への研修ポイント制」を実施します。

❖取得したポイントは該当する研修会の受講料等領収書に「研修会内容」と「ポイント」が記載されます。但し、ポイント付与対象者は看護協会会員であることが条件です。

❖ポイントが記載された領収書（コピー可）の 7 ポイント分をまとめて受付に提出することで、一般研修（1 日研修）1 回を無料で受けられます。

❖ポイントを他人に譲ることはできません。

❖有効期限はありません。

ポイントが付く研修		ポイントが付かない研修
・ 1 日研修 ・ 2～3 日研修 ・ 助産師新人研修 ・ 各地区での 1 日研修	1 ポイント	・ 半日以下の研修 ・ 共催研修 （ニプロ、ネスレ、看護連盟など）
・ ファーストレベル教育 ・ 実習指導者講習会	5 ポイント	・ 衛星通信研修 ・ インターネット配信研修
・ セカンドレベル教育	7 ポイント	・ 全国看護セミナー

5

平成 28 年度公益社団法人鹿児島県看護協会役員・推薦委員並びに平成 29 年度日本看護協会通常総会の代議員及び予備代議員の公募について

平成 28 年度鹿児島県看護協会役員・推薦委員並びに平成 29 年度日本看護協会通常総会の代議員及び予備代議員は、平成 28 年 5 月の通常総会において選出されます。次年度（平成 28 年度）に改選される役員・委員並びに平成 29 年度日本看護協会通常総会の代議員及び予備代議員について公募を行いますので、立候補される方は次の要領で届け出てください。

○公募する役員・推薦委員会委員・代議員及び予備代議員は次のとおりです。

○正会員 5 名以上の推薦が必要です。

（定款施行細則第 14 条）

○届出書（様式）に必要事項を記入し、提出してください。

役 職 名	公募数
会 長	1 名
副 会 長	1 名
助 産 師 職 能 理 事	1 名
看 護 師 職 能 理 事 I	1 名
地 区 理 事（鹿 児 島）	1 名
地 区 理 事（南 薩）	1 名
地 区 理 事（出 水）	1 名
地 区 理 事（大 隅）	1 名
准 看 護 師 理 事	1 名

委員名	公募数	摘要
推薦委員	7 名	

平成 29 年度日本看護協会通常総会

代議員・予備代議員	公募数	摘 要
代議員	7 名	各地区から 1 名
予備代議員	7 名	

※日本看護協会代議員は、会員数により人数が決まります。今後、日本看護協会から依頼がありますが、代議員数に変更があった場合は、ホームページや平成 28 年 1 月発行予定の「看護かごしま」に掲載します。

届出用紙・届出先・届出期間

・届出用紙は、鹿児島県看護協会ホームページからダウンロードするか、看護協会（庶務係）にお問い合わせください。

・届 出 先：☎890-0064 鹿児島市鴨池新町 21-5

公益社団法人鹿児島県看護協会選挙管理委員長宛

・届出期間：平成 27 年 11 月 1 日～平成 28 年 2 月 20 日

・照会先等：電話 099-256-8081 ホームページ：<http://k-kango.jp>

※立候補者、推薦委員会からの推薦を受けた者いずれも総会 2 週間前には会員に発表します。

6

助産師出向支援事業について

この事業は、助産師の地域偏在を改善するとともに、助産実践能力を強化するという目的で、平成25年～26年の2年間、厚生労働省から委託を受け、日本看護協会がモデル事業として取り組み、本会も参加しました。平成27年度は、県から委託を受け、同様の事業を行っています。9月から鹿児島大学病院の助産師が川内済生病院への出向、また、出向ではありませんが、ハイリスクの病院とローリスクの病院間での双方向の助産師研修もはじまり、それぞれの施設ではなかなか経験できない助産の経験を重ねています。母子の強い味方としてさらに活躍いただきたいと思います。

7

平成28年度 看護協会入会手続きが始まります！

平成28年度の「入会申込書・継続申請書」用紙を11月中旬頃から皆様のお手元へ発送いたします。

平成27年9月末までに入会された方は、「平成28年度会員継続申請書（プレプリント版）（※）」での手続き、10月以降の入会者および新規・再加入の方は、手書き用入会申込書での手続きとなりますので引き続きのご入会・新規のご入会をお持ちしております。

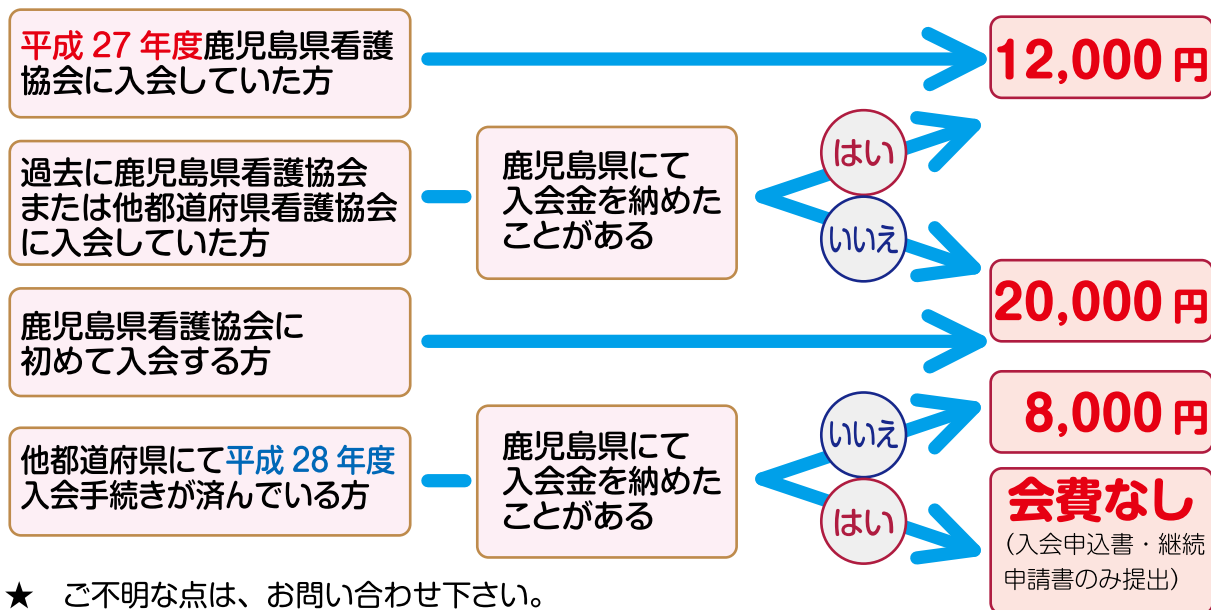
なお、平成27年度の入会も1月中旬まで受け付けています。

平成28年度の会員証につきましては、平成28年3月以降の発送となりますのでご了承ください。

（※）プレプリント版とは：前年度の会員個々の登録情報が印字された継続申請書。

会費等内訳

- ＊ 平成27年度会員の方は継続で、日本看護協会費5000円・鹿児島県看護協会費7000円で、合計12000円になります。
- ＊ 鹿児島県看護協会に初めて入会する方・過去に入会歴はあるが未納の方は、入会金が8000円必要になりますので、合計20000円になります。



★ ご不明な点は、お問い合わせ下さい。

TEL 099-256-8081 FAX 099-256-8079：会員管理担当

★「看護職賠償責任保険制度」のご案内★

「看護職賠償責任保険」加入には、看護協会の会員資格が必要です。

詳しくはホームページ (<https://li.nurse.or.jp>) をご覧いただくか、下記コールセンターへお問い合わせください。

コールセンター 0120-088-073

(平日 9:00～20:00 / 土日祝 9:00～17:00)

平成29年度から会員の継続手続きが、**簡単・便利に変わります！**

★会員の継続手続きが自動継続となります。

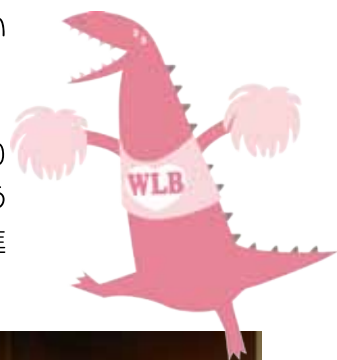
★変更手続きは書面のほかに、パソコンやスマホからも可能になります。協会ニュースに、7月号から隔月で変更の要点と最新情報を紹介しています。こちらもお覧ください。

平成27年度 8月11日・12日 看護職のワークライフバランス(WLB) 推進ワークショップ開催

平成27年度は、谷山病院、寺田病院、川内済生会病院、いちき串木野市医師会立脳神経外科センターの4施設が新たに参加し、合計16施設がWLBに取り組んでいます。

ワークショップ参加者は、公開講座を含め40施設125名でした。

公開講座では、昨年の参加施設の中から、玉水会病院と鹿児島生協病院の取り組み状況について報告があり、病院をあげてWLB推進に取り組んでいる様子がうかがえました。平成24年度から開催しているワークライフバランス(WLB)推進ワークショップも4年目を迎え、県内にWLB推進意識が浸透してきています。



小村由香先生 竹中君夫先生



施設支援者のみなさん
ワークショップ前の担当施設訪問から支援が始まりました。

谷山病院



私たちは、事務職員2名を含む7名でワークショップに参加しました。現状分析では、インデックス調査や現場の生の声を参考にKJ法を使いながら課題を絞り込んでいきました。

普段、事務職員の方との意見交換をする機会がありませんでしたが、看護を取り巻く状況を話し合う良い機会でした。支援者のアドバイスを受けながらミッション、ビジョンを作成しました。3年後のゴールを目指してわくわく、どきどきしながらWLB推進事業に取り組みたいです。



寺田病院

私たちは庶務課長を含む8名でWLBワークショップへ参加させて頂きました。時間外勤務、業務分担、他部門との連携等課題もインデックス調査やKJ法での分析により明らかになりました。ビジョンである「職員の和を大切に健康でやりがいを持ち働き続けたいと思える職場作り」となるよう今後の3年間に有意義に協力し合い精進したいと思います。



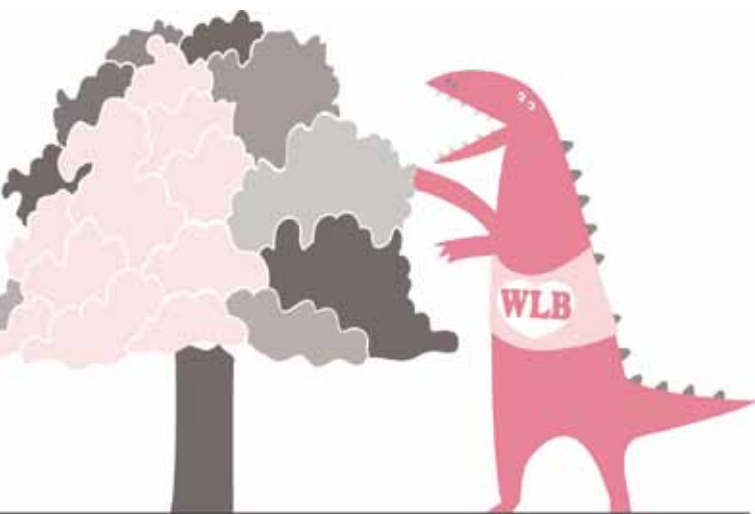
済生会川内病院

昨年度の公開講座受講直後、看護部長へ「うちの病院もWLB推進事業に参入しましょう」と言ってしまったことをやや不安(少しの後悔)に感じながら今回のワークショップに参加しました。事前の支援委員の先生方の説明を受けた後にその不安は消え、明るい未来が見えたような気がしました。さらに、ワークショップには諸事情で5人という最も少ない人数での参加が功を奏したのか、多くの先生方にアドバイスを受けることができました。楽しく頑張っていきます。



いちき串木野市医師会立脳神経外科センター

WLBは、非常に大変な取り組みだろうと不安に感じていました。今回、2日間のWLBワークショップで、ものの捉え方を柔軟に考えれば、発想の転換がしやすいとわかり、見通しが少し明るくなってきました。何よりスタッフが元気で、推進委員会のメンバーとしても前向きに活動してくれていることに、心強さを感じています。これからも意見交換ができ、知恵を出し合っていくプロセスを大切にしていきたいと思います。



めざせ!認定看護師



認定看護師の活動内容

公益財団法人昭和会 今給黎総合病院
 地域周産期母子医療センターNICU
 新生児集中ケア認定看護師
有村 こそえ

最新の知識と技術を用いて、急性期にあるハイリスク新生児の身体的ケアおよび神経行動学的発達と親子関係形成の支援を行うのが新生児集中ケア認定看護師です。現在 4 名の認定看護師が鹿児島県で活動しています。

私自身、NICU で 5 年の経験を経て、自らの看護を振り返った時、医療の進歩に伴い、看護も変わっていくことが当然であるのにも関わらず、自身の看護に進歩がないことに気づき、焦りと不安が生まれました。そこでもう一度新生児看護についての学びを深め、自信を持って看護を提供したいと思いはじめました。そのような時、新生児集中ケア認定看護師のことを知り興味を持ち、認定看護師の資格を取得しました。

出生したばかりの新生児は、母体外の環境に適応するために、呼吸や循環動態が著しく変動します。そのような新生児がサポートを必要とする時期に、個々の児を観察し、その児に適したケアの方法を考え実践しています。新生児は言葉で自分の気持ちを十分に伝えることはできませんが、小さな手足の動きや顔の表情など様々な方法でサインを出してくれています。そのサインを丁寧に読み取り、子どもたちの気持ちに向き合いながら日々、ケアを行っています。

また、新生児が入院する NICU は、痛くて辛い処置を受けている場面を想像してしまいがちですが、新生児が心地よく過ごすことの出来るよう環境を整え、それぞれのペースで成長・発達が遂げられるよう援助することも新生児看護のひとつです。NICU は家族の始まり（出生した新生児が家族の一員となる）の場所です。私達はその新生児と家族が共に過ごす環境を提供し、面会に来られた時間のなかで親子の関係性を深めるための支援も行っています。

現場では、実践以外にも新生児が生活する環境調整や安心・安楽の援助についてスタッフ全員が統一した看護を提供出来るよう、病棟内で勉強会やレクチャーなどを開催しています。最近では新生児看護に携わる地域の看護師や助産師に対しての新生児救急蘇生法のインストラクターを行っており活動の場を広げています。

新生児集中ケアというと、大変なイメージがありますが、子どもたちが元気に退院する姿を見ることはやりがいにもつながります。今後も実践モデルとして質の高いケア方法を模索し、スタッフ全員で成長していけるよう努力していきたいと思えます。





認定看護師の活動

公益財団法人 昭代会 今給黎総合病院
クオリティコントロールセンター 褥瘡管理課
下前 百合香

皮膚・排泄ケア認定研修終了後、院長直属のクオリティコントロールセンターが新設。その中の褥瘡管理課で活動を始め、今年で 9 年目となりました。当初は私一人でしたが、その後、褥瘡学会認定看護師、事務が配属され、そして、今年二人目の皮膚・排泄ケア認定看護師が誕生し、現在 4 名で活動しています。

難渋したストーマケアがきっかけで認定看護師を取得しましたが、褥瘡対策や創傷ケア介入が多く、形成外科・整形外科・皮膚科 Dr と共に、褥瘡・外傷・慢性創傷処置ケアに携わっています。治療困難な症例もありますが、治療やケア内容が創面を見るとわかるようになり、治療経過を実感できます。”ここで治療が受けられ良かった”と言われると、携わっていて良かったと思います。

平成 23 年より褥瘡と医療関連圧迫創に分け、褥瘡推定発生率を算出していますが、推定発生率は年々低下しています。レンタル Air マット導入や、全病床徐圧マットへの変更、ポジショニングクッション購入など体圧分散寝具の整備、対策患者を訪問しケア内容確認や指導、院内褥瘡勉強会を定期的に開催してきました。各病棟スタッフや医師・コメディカル部門、褥瘡対策チームと連携が図れ、スタッフの認識が向上してきた結果と思います。昨年より看護協会の DiNQL 事業に参加しており、他病院と比較が出来るようになりました。しかし、有病率は全国平均より高く、高齢者独居や老老介護であったり、施設入所でも褥瘡と認識されていないケースもあります。平成 19 年より在宅褥瘡セミナーを開催していますが、今度も県内 WOCN と連携し減少するよう活動していきたいと思っています。

ストーマケアに対しては、入院前から介入する事もあり、動画を利用した説明を始めました。入院中は病棟看護師が主導で患者指導出来るよう取り組んでいます。不十分であり状況を見ながら援助しています。退院後は、ストーマ外来にてフォローしており、通院できない方は他施設 WOCN への紹介や、施設・訪問看護ステーションへ情報提供し、また、オストメイトの会“こだま会”へ参加するようにしています。

失禁ケアに対しては、オムツの選定やコンサルテーション時、褥瘡予防回診時にケア介入のみにとどまっており、褥瘡ハイリスク患者ケア加算を算定しているため、褥瘡予防に時間を取られているのが現状です。

院内に認定看護師が 12 名おり、お互いに情報交換・共有しケアに活かしていきたいと思っています。



※DiNQL=労働と看護の質向上のためのデータベース

委員会報告1 保健師職能委員会



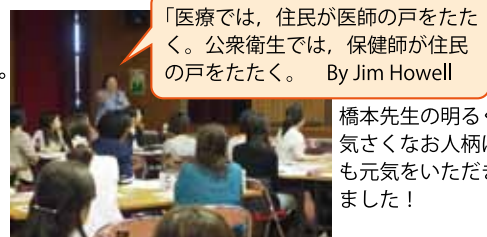
「ゆめぴか通信」は、地域で働く看護職に向けて、鹿児島県看護協会保健師職能委員会が作成し、情報発信する機関誌です。

1. 「第1回保健師研修会（県委託事業）」を開催しました！

平成27年7月31日（金）に保健師研修会を開催し、保健師、学生併せて34名の方が参加されました。

① 講話

日本看護協会保健師課の橋本結花先生をお招きし、「元気が出る保健師活動へのメッセージ」～保健師活動指針の策定を踏まえて～をテーマにご講話いただきました。保健師活動の現状と課題、保健師活動指針からみる保健師のコア、ケース支援例からみた保健師活動、看護職の8大疾病（過小評価病、白馬の王子様待ちすぎ病 etc・・・）、保健師活動の価値である全体性、総合性、公共性、社会性など、橋本先生の講話には「なるほど！」がたくさん詰まっていました。



「医療では、住民が医師の戸をたたく。公衆衛生では、保健師が住民の戸をたたく。 By Jim Howell

橋本先生の明るく、気さくなお人柄にも元気をいただきました！

皆さんが大事にしている保健師としての元気の源は何ですか？



② ワールドカフェ

「保健師として元気で活動していくために大切にしていきたいことについて」をテーマにワールドカフェ方式でグループワークを実施しました。職域も年代も違う人同士が語り合い、一度グループメンバーをシャッフルしてからまた自分のグループに戻るといった過程で様々な化学反応が起こりました。最後は1人ずつ「私の決意表明」を書き、これから保健師としてどうありたいかを確認しました。

アンケート結果から

<講演の中で参考になったこと、自分の気づきになったこと>

- ・事例を踏まえながら分かりやすく講義頂き、あっという間の2時間だった。保健師活動指針に「コア」が入っていることを改めて学び、自身の活動の根っこになる部分を整理できたように思う。(20歳代)
- ・「保健師が住民の戸をたたく」[押して、引いて、押して、押す]という言葉聞き、保健師の積極的な働きかけが必要だなと感じた。(学生、50歳代)

<グループワークの中で参考になったこと、自分の気づきになったこと>

- ・保健師が好きだな、後輩を育てていきたいなという思いに改めて気づいた。(40歳代)
- ・他のスタッフと言葉を交わすことで、自分の成長につながるんだということを感じたので、職場の雰囲気づくりの大切さを学ぶことができた。(30歳代)



今後の研修予定は、

- ① 11月27日（金）：保健指導ミーティング（事例検討会）
- ② 1月23日（土）：保健師研修会「保健師活動を語り継ぐ」です。ぜひご参加ください。

2. 新体制の保健師職能委員活動がスタートしました！

5月の県看護協会終了後、保健師職能委員のメンバーが入れ替わり、新体制での活動がスタートしました。

委員長：西原 洋子（県北薩地域振興局・新）

委員：須賀 栄子（JA厚生連・継）

江籠平 菊代（鹿児島市南部保健センター・継）

山中 和代（鹿児島市郡山保健福祉課・新）

瀬戸 純子（南さつま市・新）

中村 敬子（南大隅町・新）

森 隆子（鹿児島大学医学部保健学科・継）

石野 友希（県北薩地域振興局・新）

●活動目標●

保健師活動指針を踏まえての実践及び専門性を高めるための現職教育の実施

●活動方針●

- ① 新人期を主な対象とした保健指導ミーティングの開催
- ② 保健師の連携強化及びネットワークの構築
- ③ 保健師が主体的に活動できるように他団体等との連携を図る

1年間、このメンバーで頑張っていきます！
ご意見、ご要望などありましたら、お気軽に職能委員に声をかけてくださいね♪

会員絶賛募集中！！

皆さんの周りにまだ看護協会に加入されていない方はいらっしゃいませんか？
10月1日現在で、県内に420名の保健師会員がいます。

みんなで鹿児島県の保健師活動を一緒に盛り上げて行きましょう！

<http://k-kango.jp/annai/nyukai/>（県看護協会入会のご案内）をご確認
いただくか、または099-256-8081（県看護協会）までご連絡ください。



委員会報告2 社会経済福祉委員会

看護職の労働環境に関する調査（一般職員用）

社会経済福祉委員会では、「ピタッとかえるデイ」と「看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン」についてアンケート調査を行いました。

1. 調査概要

- 1) 調査期間：平成 26 年 10 月 17 日～12 月 20 日
- 2) 調査対象：鹿児島県内の有床施設に勤務する一般職の看護師 2322 名*管理者のこと
- 3) 調査方法：看護職の労働環境に関する調査を看護師職能委員と共同でアンケートを実施。
配布総数 2322 枚、回答数 648 枚、回答率 27.9%

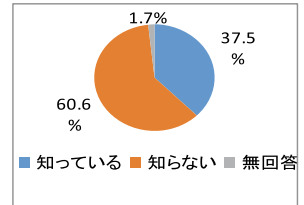


図1 ガイドラインについて

2. 結果

1) 属性

- (1) 性別：女性 573 名 (88.4%) 男性 71 名 (11.0%) 無回答 4 名 (0.6%)
- (2) 年代：平均年齢：40±10.6 歳

2) 「看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン」について

平成 25 年に日本看護協会において作成された「看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン」を 60.6%の看護師が知らないと回答した（図 1）。

3) ガイドラインにある勤務編成の基準について（図 2）。

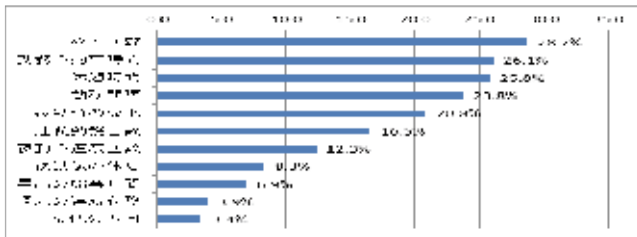


図2 勤務編成の基準について知っている項目

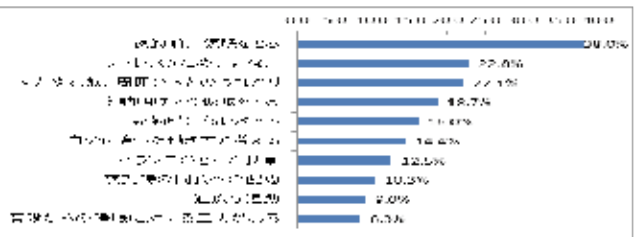


図3 実行できている負担軽減の生活のヒント

5) 超過勤務について

最近 1 ヶ月の日勤帯において、前残業していると 42.3%が回答しており、時間としては 1 時間から 2 時間未満が 80%と最も多かった。また、日勤帯の超過勤務については、74.1%が超過勤務をしていると答え、1 時間から 2 時間未満の超過勤務が 88.7%であった（図 4・5）。90%以上がやむを得ない時間外勤務があると考えていることがわかった（図 6）。

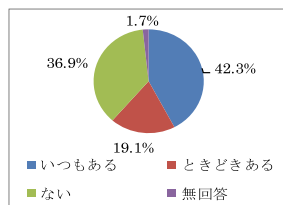


図4 前残業の有無

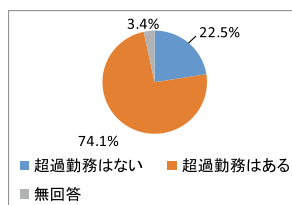


図5 超過勤務の有無

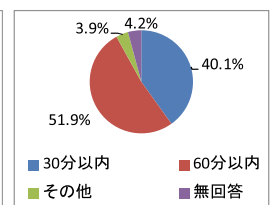


図6 やむを得ない時間外勤務時間

6) 職場内における定時に帰る取組みについて

定時に帰る取組みを 38.9%が取り組んでおり、半数以上の 56.5%が取り組んでいないと回答した。取組みの内容としては「日を決めている」が 29.0%、「人を決めている」21.4%であった（図 7・8）。

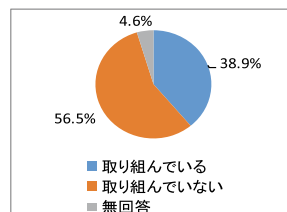


図7 定時に帰る取組み

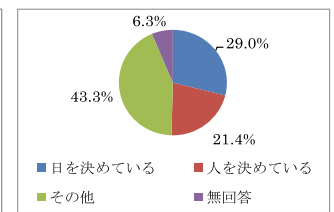


図8 定時に帰る取組みの内容

取組みを実施しても早く帰ることは出来ない理由に、「仕事自体が忙しいから」15.6% 「緊急入院や急変があるため」10.3%が挙げられた（図 9）。

3. まとめ

現場で働く看護師からの回答として、定時に帰る取組みは 4 割ほどの実施率であり、ガイドラインに関しては 6 割の看護師が知らない現状がわかった。実際、定時に帰る取組みを行っていても、上手くいっていない状況も見えてきた。鹿児島県看護協会においてナースセンターと協働しワークライフ

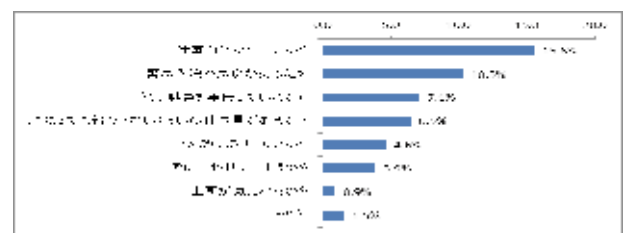


図9 定時に帰れない理由

バランス推進事業として、ワークライフバランス推進ワークショップが開催されている。昨年度までに 12 施設がこの事業に参加しワークライフバランス推進に取り組んでいる。参加施設の取組みをぜひ参考にさせていただきたい。

委員会報告3 パワフルage委員会

「自ら輝き続けるためにセカンドキャリアを考えよう」

さる8月29日(土)に、上記テーマで研修会を開催しました。今年度はシンポジウム形式で、下敷領須美子先生には「地域に根差した助産活動」、田畑千穂子先生には「メッセンジャーナースとしての役割」、古田聡美先生には「複合施設の管理者として」と題して3人の先生方から活動報告をしていただきました。会場との意見交換も活発で関心の高さが伺えました。

アンケート調査にも参加者全員25名の方が回答して下さり、年代も20代から80代と幅広く、現在も就業中の方は23名でした。参加動機はテーマに魅力を感じたが23名、上司にすすめられて4名、近く定年退職をするための参考に、が2名でした。本研修は今後の役に立つと22名が回答しており、その内容は①まだ病院で働いているので出産や定年退職は考えたこともなかったため、これからの生活スタイルについて考える機会になった(20代)、②セカンドライフは考えたことがなかったので、次の夢を見つけていこうと思った(30代)、③今のままの自分でいいか迷っていたので参考になった(40代)、④来年で定年、定年後をどうするか何かできることはないかと考え中である(50代)、⑤「パワフルな行動力」メッセンジャーナースは自分の学習の範囲かなと興味が湧いた(60代)などでした。

研修に参加しての感想には①自分の今後について悩んでいる時期です。自分の生き方を考える中で参考にしたいと思える講義でした。有難うございました(20代)、②古田先生のパワフルのすごさに感動しました。夢がある人は強くなれるということを感じた。今、臨床について業務をこなしているだけ、もっと何か自分にできることを見つけていきたい(30代)、③3人の先生が人生経験を含んだ話で、パワフルを感じました。今の現場を辞めて、第二の人生を考えた時に、地域や介護などに関わって行きたいと強く思いました(40代)、④3人ともパワフルで圧倒されました。ものすごい一言です。

守り(リスクを恐れる人生)に入っていますが、できる範囲で豊かな人生にしていこうと思いました(60代)、⑤参加できて本当によかったと満足です。3名各々その分野で活躍・発展しておられる後輩の方々に敬意と拍手を送りたい。若い仲間が新しいスタートを考えるのに参考になる研修だったのではと思う。私は年齢的に80代。ちょっと厳しいかな?でも看護職者として地域で何か役に立てるような生き方をしたい(やはりボランティアレベルかな?) (70代以上)などでした。

今回も内容の濃い研修でしたが、参加者が少なかったのは残念でした。参加者を増やすための広報活動が課題です。



パワフルage委員会
上原・有村・勝間・窪田・小原・江藤

委員会報告4 広報委員会

あなたの施設を表紙に載せませんか?

広報委員会では看護かごしまの表紙のための職場写真及び一言コメントを募集しております。
ご希望の施設は写真を1枚~4枚程度下記メールアドレスへお送りください。

kakankyo@orange.ocn.ne.jp



期間限定

公益社団法人 鹿児島県看護協会 主催事業

期間中【2015年12月12日(土)～2016年1月11日(月.祝)】に限り

サンリオキャラクターパーク
ハーモニーランド

無料ご招待

【会員とそのご家族様 対象】

入園+アトラクション利用のパスポートチケット(通常1名2,900円)が無料!

※一部アトラクションは別料金となります。



イベント情報はホームページをチェック!

ハーモニーランド 検索

★印がイルミネーション開催日 ※入園は開園の1時間前まで	2015年12月の営業時間							2016年1月の営業時間									
	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun			
《営業時間》	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
10:00~17:00	7	8	9	10	11	12	13	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
10:00~21:00	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
★	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
休園日	28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	31			
本企画は対象外	※2015年12月31日 19:00からのカウントダウン営業については、本企画は対象外となります。																

イベント情報など詳しくはHPで!
ハーモニーランド 検索

ハーモニーランドゲストインフォメーション
TEL0977-73-1111

大分県東郷郡日出町大字藤原5933番地

アクセスMAP



日出I.Cから約2分! (国道10号線沿)
©76, '91, '96, '01, '09, '12, '15 SANRIO

ご利用方法

下記利用申請書に必要事項をご記入の上、必ず「鹿児島県看護協会会員証」と一緒にハーモニーランドチケット売場に提示してください。
入園とアトラクション利用のパスポートチケットをお渡しいたします。
※「利用申請書」のみの提示、または「会員証」のみの提示では本企画をご利用できません。
必ず、「利用申請書」「会員証」の2つを一緒に提示してください。

切り取り

鹿児島県看護協会 会員専用 ハーモニーランド 利用申請書
(会員代表者を含む7名様まで)

【対象期間】2015年12月12日(土)～2016年1月11日(月.祝)
※2015年12月31日 19:00からのカウントダウン営業については、本企画は対象外となります。

P326

会員番号	氏名		
利用申請者 (4歳以上の方) ※4歳未満の方は無料となりますので記入不要です。 ●会員番号は会員様のみ記入	氏名	氏名	氏名
	氏名	氏名	氏名

ご利用日 月 日 ※お名前前の記入欄が不足する場合は「利用申請書」をコピーしてご利用ください。 ご利用者合計数(4歳以上) 名様

お買い物・お食事でもお得な特典が! 園内で使えるお得なサービス券を、ご来園時にプレゼント!

地区だより

鹿児島地区

今回は、平成27年度第1・2回 研修の内容を掲載させて頂きました。
 研修会の雰囲気や少しでも皆様を感じて頂けるようにご報告させて頂きます。
 今年度他の研修会につきましては、随時鹿児島県看護協会のHPをご覧ください。

平成27年度 鹿児島県看護協会地区 第1回研修会 平成27年6月13日

テーマ：「医療・介護従事者、個人としてのキャリアライフプランを考える」

講師：中村 直也先生

学校法人原田学園 鹿児島医療技術専門学校 校長

参加者 109名 アンケート回収数 77名

- | | | | | | |
|---------|--|----------|----------|-----------|-----------|
| 1. 職種 | 看護師：74人 | 准看護師：1人 | 保健師：2人 | 助産師：0人 | |
| 2. 年齢 | 20歳代：11人 | 30歳代：16人 | 40歳代：23人 | 50歳以上：23人 | 60歳代以上：4人 |
| 3. 参加動機 | 1) 内容にひかれたから 39人 2) 人に勧められたから 25人 3) その他 13人 | | | | |

4. 本日の研修の感想やご意見をお書き下さい。

- ・新たな気持ちでキャリアをつもう、活かそうと思いました
- ・やはり大切なのは、自分自身の心だと感じました。先生から沢山の前向きな言葉をもらえてまたきちんと自分について見直したいと思います
- ・もう少し深く講演を聞きたかった。疲れた今に元気をもらいました
- ・幸せについての言葉が印象に残りました
- ・講師の先生が飽きさせないように大変努力されていたのは伝わりました。内容は少し抽象的だったように思います。
- ・自分を振り返りまた今日から頑張っていこうと思いました
- ・自分が悩んでいる事が今日の講演を聞いて目の前が明るくなりました
- ・自分の物の考え方を再確認する機会になりました。前向きに仕事ができればと思います
- ・ビデオやゲームを間に入れ込んであり楽しく研修を受ける事が出来ました
- ・解りやすくイメージしやすい講義だった。ネガポジマップを使ってみます

5. 本日の研修について該当するところに〇印をお書きください。

- | | | | | | |
|--------------|-----|-----------|-----|--------|----|
| 1) とてもよかった | 44人 | 2) よかった | 29人 | 3) ふつう | 4人 |
| 4) あまりよくなかった | 0人 | 5) よくなかった | 0人 | | |

6. 研修の時間、場所についてのご意見をお書きください。

- ・もう少し研修の時間があれば良かった
- ・スライドが見えにくかった
- ・午後から始まり参加しやすかった
- ・午前中にあるともっと良かった
- ・交通の便利なところがいい
- ・駐車場がなく不便

7. 次回企画して欲しい研修についてのご希望・ご意見をお書きください

- ・ストレスマネジメント
- ・キャリアで考えるとセラピー的なもの
- ・コミュニケーションに関するもの
- ・在宅医療、看護の実際
- ・毎回同じ内容が多いので今までにない研修をお願いしたい

8. その他、お気づきのことがございましたらお書きください。

- ・子連れで研修が受けられると素敵だと思います。ママさんNS ファイトです
- ・冷房が効きすぎて寒かったです

研修を終えて

大雨の中、109名という沢山の参加がありました。

講演中とても心に響く言葉や考え方を先生からお聞きし、元気をまた勇気を頂きましたという感想を多くの受講者から聞くことが出来ました。

今後は医療従事者として、改めて自分を見つめ直し自分の強み、弱みを考え内的キャリアをみがいていきたいと思えます。

平成27年6月13日 文責 新屋敷 由美子

テーマ：「感染対策の基礎」

講師 鹿児島厚生連病院 感染管理認定看護師：秋山 久美 先生
鹿児島市立病院 感染管理認定看護師：久保 直美 先生



参加者 83名 アンケート回収数 76名
 1. 職種 看護師 66名 准看護師 6名 保健師 4名
 2. 年齢 20歳代 19名 30歳代 19名 40歳代 25名
 50歳代 10名 60歳代 3名
 3. 参加動機 1) 内容にひかれたから 35名
 2) 人に勧められたから 26名
 3) その他(委員をしている) 11名

4. 研修の感想やご意見。

- ・自分の行動しだいで感染を防ぐことが出来ると 再度認識をもつことができたので明日から学んだことを生かしていきます。
- ・基礎的なところから理論と関連させて学び直すことができました。
- ・わかっているつもりインフルエンザ対応も改めて考えさせられました。
- ・感染対策について職員全体で取り組んでいかないといけないと感じた。
- ・実際にマスク、エプロンのつけ方、外し方、消毒方法など細部まで行っていないことに気づけた。
- ・病院でのとりくみを知ることができ病院でも気をつけるべき箇所を学ぶことができた。
- ・在宅やクリニック等で、設備的に感染対策がとり難い所での具体的工夫があれば嬉しかったです。
- ・院内感染についての学びを病院でも実践し業務の効率化を目指しながら院内感染に努めていきたいと思った。
- ・感染症はいつも自分たちのそばにあるということを今後今以上に 自覚して手洗い、消毒、マスクなどの感染予防につとめていきたいと感じた。
- ・デバイスについて今まで研修でなかったので参考になった。
- ・講義の構成、スライドを読み上げるテンポがとても良くわかりやすかった。
- ・普段行っている手技をふりかえる機会となり反省することも多かった。
- ・基本をしっかり学ぶことで感染対策への意識を高めることにつながりよかったです。
- ・院内での活動内容をもっと聞きたかった。
- ・まずは、標準予防策の徹底を図り、自らすすんで予防策を実施できるよう意識づけから取り組んでいきたいと思う。
- ・スタッフへのサベランスについての説明、文書、構成に活用していきたい。
- ・マスク手袋ガウンの着脱方法を学習しましたが、含嗽についても話を聴きたいと思った。



5. 研修内容の評価

・とてもよかった	40名
・よかった	30名
・ふつう	3名
・あまりよくなかった	1名
・よくなかった	0名

6. 研修の時間、場所についてのご意見

- ・駐車場の場所がわかりづらかった。
- ・場所が中心部だとうれしい。
- ・一番前列にてスライドとの距離が近すぎて見づらかった。
- ・研修時間が長い。
- ・適当な時間、場所だったと思います。

7. その他、お気づきのこと。

- ・基礎編はいろんな研修で学ぶ機会がふえてきました。福祉施設や自宅での感染防止もそろそろ学ぶ機会があってもいいのではないのでしょうか。
- ・資料が小さく印刷が見づらい箇所がありました。
- ・汚物・吐物処理のシミュレーションをみたいです。
- ・大変わかりやすい解説の講義の内容でしたので、また他の感染対策においても研修してほしい。
- ・臨床現場で役立つことばかりで来たかがありました

8. 研修を終えて

感染対策の基礎は、知識はあっても実際に実践できていないことも多くあり、現場での行動を見直すことができたと思う。質問がとても多く参加者の意識や関心の高さが見受けられました。手袋、マスク、エプロンの着脱方法の実技やグループワークがあり充実した研修になったと思います。 平成27年7月16日 文責 荒殿 やすよ

大隅地区

大隅の活動 ～ OOSUMI ナース・パワー全開！！ ～

大隅地区総会

平成27年6月27日開催

講演：「伝える技術・伝わる技術」

講師：WM commons

参加者：124名（会員＝111名・非会員＝13）

平川鹿児島県看護協会長にご出席いただき平成27年度大隅地区集会を開催致しました。物故会員への黙祷から始まり、各委員会の報告等を順次行いました。最後に名誉会員の方から「看護の仕事は素晴らしい。一生看護の仕事をして欲しい」とエールをいただきました。

総会終了後は、WM commons による特別講演「伝える技術・伝わる技術」を開催しました。話を聴くことや、伝えるためにはやはり心から聴こう、伝えようとする気持ちがないといけないことを感じる講演でした。1時間半はとても短く、笑で元気をもらうことができました。来年の地区集会（平成28年6月11日予定）にもWM commonsをお呼びする予定です。多くの皆様にご参加いただき、楽しい時間を過ごせたらと思っています。



新人看護職員合同研修会

第1回研修 平成27年7月18日開催

目的：「大隅に働く喜びを分かち合う」

参加者：新人51名（男性5名・女性46名）

2年目ナース9名・プリセプター14名 教育委員13名 合計87名

<アンケートの結果>

*研修に満足しているのが9割以上 *大隅地区としてのネットワークの場となっている

*同じ悩みを抱えていることが解りホッとした

*先輩（プリセプター）たちも悩みながら指導していることが解り、自分たちも頑張らなければと思った。

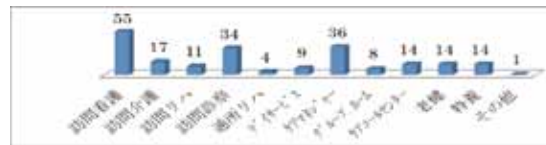
 申込者
全員参加

新人看護職員合同研修会

第2回研修予定 平成27年10月3日開催

「どの在宅サービスの話を聞きたいか」の事前アンケートの結果は以下のようになっています。

訪問看護（訪問診療）・介護支援専門員・訪問介護のサービスの紹介とグループワークの指導をお願いします。



教育委員会の活動

講演：「感染対策について」H27・8月29日

講師：感染管理認定看護師 仮重 喜代美先生

感染管理認定看護師 永山 由香先生

内容：朝からの大雨にも関わらず77名の方に参加して頂きました。感染対策の基礎から、防護衣着脱訓練、アウトブレイク防止に向けたグループワークとすぐに現場で取り組める実践的な研修で大変勉強になりました。



教育委員会活動計画

平成27年度は、専門職能としての社会貢献、人材育成を目的として研修会を企画しています。特に、地域組織拡大と強化を目標に准看護師を対象とした「フィジカルアセスメント研修」（講師：集中ケア認定看護師）と曾於地区での「褥瘡ケア研修」（講師：皮膚・排泄ケア認定看護師）を開催予定です。看護職として、今後もキャリアアップと看護の質・技術向上を目指して大隅地区の医療と生活支援に貢献していきます。

(教育委員長 松山美鈴)

地域ケアサービス委員会の活動

事業名：青少年育成事業「Big すんくじら」

日時：平成27年7月23日～25日

参加者：小中学生総勢60名 主催者メンバー20名

・看護協会ボランティア・スタッフ述べ18人

夜、ホームシックになり泣き出す子供がいたり、熱中症になったりと気が抜けない3日間でしたが、とても充実したボランティア活動でした。

日時：平成27年8月1日・2日

事業名：かのや夏祭り・納涼花火大会救護

看護協会ボランティア・スタッフ4名

地域ケアサービス委員会活動計画

地域のイベント開催時に応援要請を受け活動しております。地域イベントへの看護協会の協力イメージも定着し、地域の皆様との交流の場となり頼りにされている実感があります。また、地域ケアサービス委員だけでなく、各病院から快く応援人員を出していただく協力体制もできており、大隅地区看護協会の絆に感謝しながら、活動させていただいております。

(地域ケアサービス委員長 谷川 仁美)

大隅地区医療安全ネットワーク会

研修予定 平成27年11月21日 内容：失敗学のすすめ

是非・大隅にお越し下さい



鹿屋商工会議所ホームページより



ナースセンターだより

Vol.114



★訪問看護研修★

【27年度訪問看護管理研修】終了しました・・・*自分の課題に向き合い、方向性が見えたようです。

講義①『訪問看護ステーションの経営・運営管理、管理者の役割とスキル』

〔講師〕 全国訪問看護認定看護師協議会代表
岐阜県看護協会立訪問看護ステーション下呂
管理者 野崎 加代子 先生

講義②『自施設の分析・評価』

〔講師〕 さつま訪問看護ステーション
訪問看護認定看護師 坂口 まり子先生

*経営状況の把握・評価ができる

〔講師〕 鹿児島大学医学部保健学科 島嶼・地域ナース育成センター
訪問看護認定看護師 金子 美千代先生

*管理者の役割を再考できる



=受講生の声=

- ① ステーション運営の方向性が明確になる
- ② 経営について考えるようになった
- ③ 自施設を現状分析する糸口がつかめた
- ④ 前向きに考えるようになる
- ⑤ 今後の自分の役割がみえた



=受講生の声=

- ① 解りやすく、管理者として、どうあるべきかを学ぶ、活かせる、役に立った
- ② ビジョンを持つことが大事だと気付く
- ③ 役割についてとても考える機会になる

*研修を通して変化（成果）があったがほとんど！

★再就職支援セミナーのお知らせ・報告★

「blankがあるけれど、もう一度看護職として再就業したい！」と思っている皆様のためのセミナーです！（託児付）

【対象者】 未就業または再就職後1年未満の看護師、准看護師、保健師、助産師

開催予定

- ◆第2回 鹿児島地区再就業支援セミナー ※申込終了
開催期間：10月21日（水）～30日（金）のうち3日間
場 所：鹿児島県看護研修会館（鹿児島市鴨池新町21-5）
- ◆大島地区 再就業支援セミナー ※申込受付中！
申込期間：平成27年9月14日（月）～10月20日（火）
開催期間：【講義】11月10日（火）および11日（水）
【実務研修】11月16～20日のうち1日間
場 所：奄美市AiAiひろば（観光交流センター）



託児の様子

※鹿児島地区の第1回目のセミナーが7月に開催されました。
blankの不安を乗り越えて、再び看護職として活動を始めています。

お申込み・問い合わせは
ナースセンターまで
TEL 099-256-8025
<http://k-kango.jp/>

★平成27年度 ふれあい看護体験報告★

看護の日の記念事業として、今年もふれあい看護体験が実施されました。5月と夏休み期間に多くの参加者が心に残る体験をしたようです。ひとりでも多くの未来の看護師が誕生することを願いつつ……

ふれあい看護体験
体験者数511名

小学生 44名
中学生 72名
高校生 370名
学 生 1名
一 般 24名



初めての
血圧測定です。
ドキドキ!!

参加者の感想より

☆看護体験を受けて思ったことは、思っていたより、精神的にも身体的にも疲れるということと、看護する上で大事なことは、気配りとコミュニケーション力なんだと思いました。

☆看護師さんの子どもに対する接し方、子どもを安心させようと、一生懸命・優しく話している姿を見て、私自身まで心が温くなりました。

☆体験学習では、普段できないことや、見ることができないものを体験・見学することができたので、とても貴重な体験になりました。この体験で、将来が少し、見えてきた気がします。



赤ちゃんは
やっぱり!!
かわいい~



【ナースセンターの事業経過報告】



1. 出前授業

県内の中・高校生等を対象に、「みんなで話そう~看護の出前授業」を行っています。

9月末現在、中学校5校、高校2校、短大2校から出前授業の開催要望があり、4校で出前授業を実施しました。

今後も、「みんなで話そう~看護の出前授業」の申し込みを受け付けています。

看護職として日頃から大切にしている「看護のこころ」を、中・高校生等へ伝える授業に御協力をお願いします。

2. 学校訪問：11施設を訪問しました。

県内の看護学校を訪問し、卒業年次の学生に対し、ナースセンターの事業紹介と活用について説明を行っています。これから看護師として就業していく中で、ライフステージに応じた働き方を考えながら、働き続けていくことが大切でありと話しかけています。

3. 技術支援セミナー：毎月第4金曜日 9:30~11:30

ブランクがあって再就業に不安を抱えておられる方に、採血・点滴の技術確認を行っています。5月~9月で23名の方が受講されました。

4. ハローワーク出前相談

1) 鹿児島市 (ハローワーク鹿児島)：毎月第4木曜日 13:30~15:30

担当：ナースセンターの就業相談員

相談件数：11件 (4~9月)

2) 地区別就業相談

担当：研修を受けた地域在住の看護職就業相談員 16名

相談件数：50件 (6~9月)



< 10月からの新規事業のお知らせ >



★ナースセンター・ハローワーク連携事業★

2015年10月から、国策によりハローワークとナースセンターの連携が強化されます。
 ハローワークへ求人・求職登録をされた施設・看護職のみならず、ナースセンターへの登録も
 お願いし、ハローワークとナースセンター双方で協力して看護職就業に努めます。
 登録手続きの簡略化も進めております。
 ハローワーク登録と同時にナースセンターへもご登録いただきますようお願いいたします。

★いよいよ「看護師等の届出制度」スタート!★

鹿児島県ナースセンターでは、先行して「離職届」をお願いしていましたが、10月1日に「看護師等の届出制度」が施行され、正式に届出制度(離職届)がスタートしました。

【届出の対象者】

- ① 病院等を離職した場合
 ※ただし、次の職場で看護職として従事することが決まっている場合の届出は不要です。
- ② 保助看法に基づく業に従事しなくなった場合(行政職、研究職、教員等)
- ③ 免許取得後、直ちに就業していない看護師等(進学や留学などで就業しない場合など)
- ④ 平成27年10月1日において業務に従事していない看護師等

【届け出る内容】

- ・氏名、生年月日、住所、電話番号、メールアドレス等
- ・看護師等の籍の登録番号および登録年月日
- ・就業に関する状況

【届け出る方法】

- (a) 本人が直接ナースセンターへ届け出る方法
 インターネット「日本看護協会eナースセンター」で検索し、
 看護師等の届出サイト「とどけるん」から入力、
 または、届出票をナースセンターへ直接提出する(郵送可)
- (b) 離職時等に職場(上司)が本人に代行し届け出る方法
 ・代行届出用紙に離職者が届出内容を記入し職場(上司)へ提出する

※御不明なことはナースセンターへお問い合わせください。

※詳細は看護協会ホームページや「協会ニュース9月号」をご覧ください。



看護師等の届出サイト「とどけるん」

<https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/>

【求人・求職登録状況】

(平成27年8月)

- ※新規求人情報 461人
- ※新規求職者数 210人
- ※就職者数 22人



鹿児島県ナースセンター

〔看護師等無料職業紹介所 46-ム-010002〕

★窓口・お電話でのご相談★

相談日：月～金 午前9：00～12：00
午後1：00～4：00

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町 21-5

TEL：099-256-8025

FAX：099-256-8079

mail：kagoshima@nurse-center.net

ホームページ <http://k-kango.jp/>

理事会報告

◆第3回理事会

平成27年7月4日(土) 13:30～17:00

16名出席

◆ 協議事項

- 1 事業推進に関する事項
 - 1) 平成27年度通常総会における質問・意見への対応について
 - 2) 平成27年度事業計画について
 - 3) 平成28年度事業計画・予算要望について
 - 4) 認定看護師交流会について
 - 5) 地域医療構想懇話会について
- 2 管理的事項
 - 1) 役員及び委員の傷害保険について
- 3 会員支援関係
 - 1) 協会加入促進について
 - 2) 会員の福利厚生について

★ 報告事項

- 1 事業推進に関する事項
 - 1) 日本看護協会通常総会の重点事業等について
 - 2) ワーク・ライフ・バランス推進事業の進捗状況について
 - 3) 助産師出向支援事業の進捗状況について
 - 4) 口永良部火山爆発災害対応及び県防災総合訓練への参加について
 - 6) 看護職就業相談事業について
- 2 管理的事項
 - 1) 地区集会について
 - 2) その他
- 3 会員支援関係
 - 1) 日本看護協会名誉会員及び日本看護協会会長表彰者について
 - 2) ホームページの活用について
 - 3) 図書室文献検索用パソコン整備について

◆第4回理事会

平成27年9月12日(土) 13:30～17:00

16名出席(他代理1名)

◆ 協議事項

- 1 基本方針
 - 1) 看護師の特定行為に係る研修制度について
・特定行為研修機関に係る鹿児島大学への要望書提出後の対応について
- 2 事業推進に関する事項
 - 1) 鹿児島県ナースセンター事業運営委員会の設置について

- 2) 教育事業におけるポイント制導入について
 - 3) 平成28年度医療介護総合確保基金事業について
- 3 管理的事項
 - 1) 訪問看護相談支援事業のホームページのリニューアルについて
 - 2) 看護協会の広告について
 - 3) 公益社団法人鹿児島県看護協会慶弔見舞に関する規定の改正について
 - 4) 平成28年度改選役員・推薦委員並び平成29年度代議員及び予備代議員の公募について
 - 5) 災害時の対応について
 - 6) 寄付金について
 - 4 会員支援
 - 1) 研修受講者(会員)に対する駐車料金の補助について

★報告事項

- 1 基本方針
 - 1) 県知事への要望書について
・平成28年度事業・予算要望について
 - 2) 地域医療構想に関する看護協会の取組みの方向性について
 - 3) 多職種を交えての「まちの保健室」の開催について
- 2 事業推進に関する事項
 - 1) 看護職員就業相談事業について
 - 2) 看護職員県内就業促進事業について
 - 3) 平成27年度看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップについて
 - 4) 准看護師制度について
 - 5) 地区新人合同研修会の受講料について
 - 6) 平成27年度日本看護協会関連事業の状況について
 - 7) 戴帽式への出席について
 - 8) その他
- 3 管理的事項
 - 1) 議事録(理事会・運営委員会)
 - 2) 桜島大規模噴火及び津波への対応について
 - 3) 職員へのハラスメント研修の実施について
 - 4) 平成28年度通常総会時等の講師について
- 4 会員支援
 - 1) 平成27年度看護職賠償責任保険制度の加入状況について
 - 2) 会員加入状況について
- 5 その他
 - 1) 連盟との打合せ会について

編集後記

みなさん！7月号の市立病院の記事はいかがでしたか？私たち広報委員も発行されてくるまでは、主旨が伝えられたか不安だったのですが、記事を見て安心しました。今回の取材でインタビューの大変さ、原稿に落とす大変さを感じていると共に、取材の楽しさも感じております。次はあなたの病院に行くかもしれません！！

広報委員一同

看護専門職として
社会に貢献しよう



会員の増加と福祉の
向上のため活動しよう

公益社団法人 鹿児島県看護協会

鹿児島市鴨池新町21-5
TEL.099-256-8081 FAX.099-256-8079
URL <http://k-kango.jp>
E-mail kakankyo@orange.ocn.ne.jp